



2013年9月13日
博報堂DYホールディングス
株式会社メンバーズ

ソーシャルメディア活用実態調査・分析報告

- 広告出稿上位300社の公式アカウントを対象とした大規模調査
- 公式アカウント数は、Facebook で平均3.9アカウント、Twitter で平均6.7アカウント、複数のアカウントを持つ企業が一般的
- 業界別の Facebook1アカウントあたりの平均ファン数トップは交通・運輸業界、投稿への反応率トップは官公庁

博報堂DYグループの横断組織「博報堂DYグループ・ソーシャルメディア・マーケティングセンター」と株式会社メンバーズ(本社:東京都中央区、代表取締役社長:剣持忠)は、広告出稿上位300社によるソーシャルメディア(Facebook、Twitter、LINE、Google+)の活用実態に関する調査を2013年4月～5月に共同で実施しましたので、分析結果をご報告します。

Facebook を自社のマーケティング活動に活用している企業数は300社中245社、Twitter は205社、LINE は20社、Google+は67社という結果となりました。また、1企業あたりの公式アカウント数は、Facebook で平均3.9アカウント、Twitter では平均6.7アカウント、LINE は1.3アカウント、Google+は1.6アカウントという結果となり、複数のアカウントを持つ企業が一般的であることが分かりました。

ファン数50,000人以上の Facebook アカウント数は、103アカウント。生活者の企業 Facebook ページに対する興味・関心の高まりがうかがえます。

また業界別に、Facebook における1アカウントあたりの平均ファン数を見ると交通・運輸業界がトップ、1アカウントあたりのエンゲージメント率(投稿に対する反応率)^{※1}は官公庁がトップという結果となりました。

博報堂DYグループと株式会社メンバーズは、今後も定期的に企業によるソーシャルメディアアカウントの活用状況を把握する調査を続け、企業のマーケティング活動におけるソーシャルメディアの役割について明らかにしてまいります。また、調査結果の知見を活かしたコンサルティング体制を強化し、企業によるソーシャルメディアアカウントの運用から、O2O・商品開発など、ソーシャルメディアアカウントを活用したマーケティング施策の企画から実行までを支援してまいります。

※1 エンゲージメント率

ファン1人あたりの投稿記事に対する反応率。Facebook では、投稿に対する「いいね！」数、コメント数、シェア数を足上げた数をファンの数で割ったもの。調査時点から直近25件の投稿の平均値を算出している。

<ご参考> 2012年調査結果との比較分析

広告出稿上位100社^{※2}について、昨年の調査結果(2012年6月～7月実査)と比較したところ、Facebook を活用する企業数は昨年60社に対して88社、Twitter については昨年51社から79社、前年比1.5倍という結果となりました。

1企業あたりの公式アカウント数は、Facebook は昨年3.3アカウントに対し1.4倍の4.6アカウント、Twitter は昨年5.7アカウントに対し1.2倍の6.9アカウントという結果となり、ブランド・商品毎、企業独自のカテゴリ・コミュニティー毎に複数の公式アカウントを持つ企業が増えていることが分かりました。

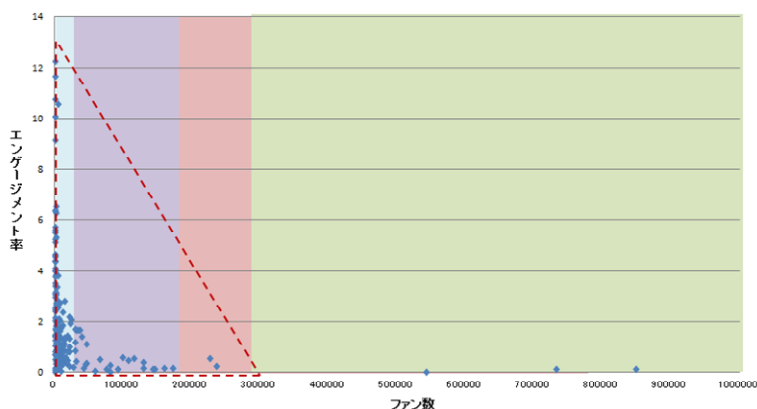
ファン数50,000人以上の Facebook アカウント数は、昨年の20アカウントに対し、103アカウントと大幅に増加。うち、50,000人以上100,000人未満が47アカウント、100,000人以上が56アカウントという結果です。Facebook アカウント規模別の平均エンゲージメント率についても上昇傾向であることから、企業による Facebook アカウントの活用が企業と生活者とのエンゲージメント構築に貢献していることが予想されます。

※2 昨年調査(2012年調査)では、上位100社(2011年4月～2012年3月における推計出稿金額から抽出)を対象とした。今回の調査における上位100社(2012年1月～12月における推計出稿金額から抽出)は必ずしも昨年調査と同一の企業とは限らない。

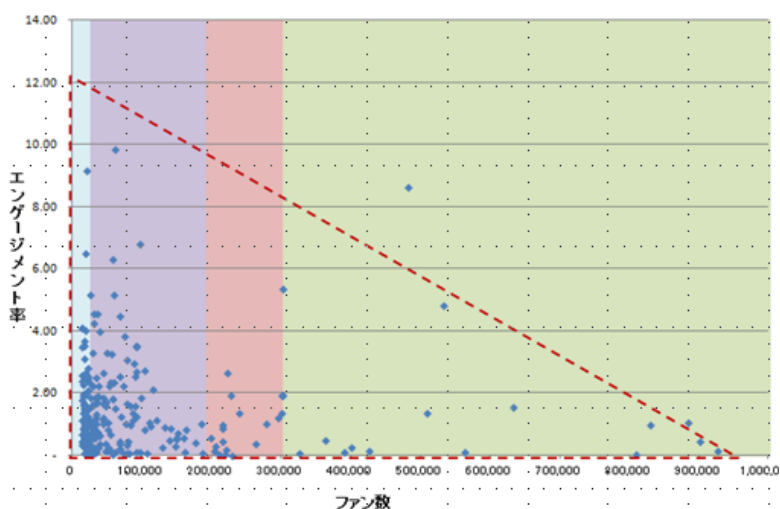
【企業の公式 Facebook アカウントにおけるファン数とエンゲージメント率】

2012年⇒2013年で、ファン数、エンゲージメント率ともに上昇している。

・2012年



・2013年



■ 調査概要

➤ 調査対象

広告出稿上位企業300社^{※3}が保有している、Facebook、Twitter、Google+、LINE 公式アカウント

➤ 調査期間

2013年4月20日～5月10日

※3 2012年1月～12月における企業の広告(テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、交通広告、インターネット)出稿金額を推計し、上位300社を抽出。

■ 「博報堂DYグループ・ソーシャルメディア・マーケティングセンター」について

当組織は、ソーシャルメディアを活用し、企業のマーケティング課題を解決するソリューション提供やサービス開発を行う、博報堂DYグループ横断の組織です。

中核事業会社4社(株式会社博報堂、株式会社大広、株式会社読売広告社、株式会社博報堂DYメディアパートナーズ)だけではなく、デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社を始めとしたグループ会社それぞれが、クライアントへのソリューション提供の取り組みやソーシャルメディア・マーケティング領域の新サービスの開発を行っております。

当組織ではこれらの動きや情報を組織横断型で一括集約し、グループ内のリソースのみならず、メディア・テクノロジー提供企業・制作会社など外部とのネットワークも活用し、新たなマーケティング手法や広告手法の開発を推進してまいります。

■ 「メンバーズ」について

- ・社名 : 株式会社メンバーズ
- ・本社 : 〒104-6037 東京都中央区晴海一丁目8番10号
晴海アイランド トリトンスクエアオフィスタワーX 37階
TEL 03-5144-0660 / FAX 03-5144-0661
- ・代表者 : 代表取締役 兼 社長執行役員 剣持 忠
- ・設立 : 1995年6月26日
- ・資本金 : 7億7,329万円

<本件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先>

株式会社博報堂DYホールディングス	グループ広報・IR室	西原、山崎、藤井	03-6441-9062
株式会社メンバーズ	経営企画室 広報担当	岡田	03-5144-0660